第十講 ● 文学的文章⑥

一題目 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「もしもし、相沢(あいざわ)ですけど。ゆうすけくん、いますか？」
「もしもし、相沢可奈子(かなこ)といいますが、四年生のこうじくんを……」
「もしもし、あ、正男？　きょうはどうしたのよ。あしたは歌の練習するんでしょ？」

ふーっと、大きく息をはきながら、わたしは左手で顔をこすった。

かすかに汗(あせ)ばんでいる。

にぎりしめた受話器(じゅわき)も、いっしょに汗をかいている。

電話をかけたのは、これでなん人になるだろうか。

①クラスの名簿(めいぼ)から、わたしは、男子の名前をひとつずつ消していきながら、ふと思った。

②男子って単純(たんじゅん)なんだ……。

ひとりひとりと電話で話せば、
「うん、あしたは練習するよ」
「つい、カーッとなってしまって」
「みんなが帰りはじめたので、いっしょに帰ってしまった」
「斉藤(さいとう)が悪いんじゃないもんな」
ということになる。じつにすんなりと、あしたを約束してくれるのだ。わたしだったら、そんなにあっさりとうなずけるかどうか……。ま、男子のことは、よくわからない……。

さあ、もうひとがんばり！

そこへ、幸子から電話がかかってきた。

「カナ⁉　なにのんびり長電話してるのよ。もう、

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ちっともつかまんないんだから。あのね、今、ひな子ん家（ち）に電話してね、おばさんと話したのよ。そしたらね」

と、ことばの洪水（こうずい）だ。

「おばさんをおしのけてひな子が出てきてね。熱がさがったので、あしたは学校に行くって。そしたら、またおばさんが出てきてね、なんとかひな子をとめてちょうだいって」

「それで、どうなったのよ」

わたしの息も、おもわずはずむ。

「うん、おばさんには、はいってかわゆく答えといてね。ひな子には、□って」

「わあ、よくやった」

「でしょ。そうそう、それからね、休んでる間に、効果的（こうかてき）な歌い方を思いついたって、ひな子が言ってる」

わたしも、負けずに早口で告（つ）げた。

「こちらもいいニュース。今、わたしは、クラスじゅうの男子に電話をかけてたのよ。あしたから歌の練習、またやるって」

「すごいっ。じゃ、わたし、女子に電話する」

③幸子とわたしは、さよならも言わずに電話を切った。

つぎの日の放課後、礼介（れいすけ）と哲也（てつや）、幸子とわたしは、理科室に急いだ。

④きょうの練習場所は、だまってうしろの黒板にはりだしてきた。

みんな、来てくれるだろうか……。

（高田桂子（たかだけいこ）『ふりむいた友だち』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「クラスの名簿から、男子の名前をひとつずつ消していきながら」とありますが、これは何をしているのですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□□□□□□□に電話して、あした□□□□をするようにさそっている。

問二　――線②「男子って単純なんだ」とありますが、男子のどんな様子に対してこう思ったのですか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　みんなでいるときと、ひとりでいるときは言うことがちがう様子

イ　自分の悪いところに気づいたときに、すぐにあらためようとする様子

ウ　もめごとがあってもわだかまりがなく、翌日は練習するとすんなり約束する様子

エ　とつぜんに電話してきた可奈子の言うことをあっさりと信じてしまう様子

□

問三　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　おばさんの言うことを聞きなさいよ

イ　絶対に休んじゃだめよ

ウ　あしたまた電話するよ

エ　熱がさがってから学校においでよ

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「幸子とわたしは、さよならも言わずに電話を切った」とありますが、ここからどんなことがわかりますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　二人が、おたがいのいい報告を聞いて、いっそう張り切っていること

イ　二人ともいそがしくて、相手のことにかまっているひまがないこと

ウ　二人が、喜びすぎて自分が何をしているのかわからなくなっていること

エ　二人ともこうふんしているので、相手の話をちゃんと聞いていないこと

□

問五　――線④「きょうの練習場所は、だまってうしろの黒板にはりだしてきた」とありますが、このときの可奈子の気持ちとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　自信まんまんの気持ち

イ　晴れ晴れとした気持ち

ウ　半ばあきらめた気持ち

エ　いのるような気持ち

□

問六　幸子と可奈子に共通する性格としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　思いこみがはげしい。

イ　強がりである。

ウ　落ち着きがない。

エ　行動力がある。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

どどどっと、ろうかを走る音がひびいた。ひとかたまりになって女子がとびこんできた。

「たすけてー。こごえそう」

「さむーい、この部屋」

そのあとから、二、三人ずつ、のそのそと歩いてくるのは？　――男子だ。わたしたちのクラスの男子だ。背をまるめて、寒そうにやってくる。

礼介は、動きをとめ、ぽかんと口をあけた。

その礼介の前を、てれくさそうな、あるいは、気がつかないといった顔の男子が、ふたりまた三人と通りすぎる。①ストーブもない理科室の寒さは、クラス全員のはく息で、またたくまにやわらいだ。

礼介は、ぼーっとした赤い顔で、なんどもみんなの顔を見まわしている。②男子もまた、天井をながめたり、横をむいたり、おちつかなげなようすである。

とつぜん、礼介が、ぴょこんと頭をさげた。

「みんな、ごめんね」

おどろいたのは、男子全員だった。焼けた鉄がくんにゃりと曲がるように、みんなの表情が、たちまちゆるんだ。ばらばらと、男子が礼介をとりまいた。

「ぼくたちもごめんな」

「斉藤のせいにして、悪かったよ」

「ぼくたちみんなの問題だもんな」

礼介は、もう一度頭をさげた。

「ありがとう」

しばらく、わたしたちはうつむいていた。今のこの空気、にがしてはならない……。

「優勝したい」

とつぜん、まのぬけた声を出したのが礼介でなかったら、わたしはにらみつけたにちがいない。

「ユーショー……？」

みんなも、すぐには漢字で理解できなかったらしい。しばらくして、おどろきの大合唱となった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「むりだよ、斉藤」

「学年だけでも、とうていむりだよ」

「青木学級にはかないっこないもの」

「学校全体となると、よけいにだめだよ」

ひとしきりざわめいたあと、ぽつん、ぽつんと、つぶやき声が広がりはじめた。

「優勝かあ……」

「いいなあ……」

「うん、ほしいよなあ」

声の調子が、あこがれに近くなっていく。

「優勝しよう」

最後にそう言ったのは、哲也(てつや)だった。

哲也は、セーターのなかから、なにかをひっぱりだした。もう暮(く)れかけたうす暗い教室のなかで、にぶく光っているそれは、手づくりの指揮棒(しきぼう)だった。蛍光塗料(けいこうとりょう)をぬったタクトだった。

みんな、はじけるように笑(わら)った。哲也をとりかこんでタクトをうばいあう。黄色いタクトが、生きもののように空間をはねまわっている。

わたしは今、ひとりではないと感じた。たしかに、手ごたえのようなものを感じた。

（高田桂子(たかだけいこ)『ふりむいた友だち』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「ストーブもない理科室の寒さは……またたくまにやわらいだ」とありますが、ここに表れていることとしてもっともよいものを次のうちから選（えら）び、記号で答えなさい。

ア　これから練習を始めるみんなの不安の大きさ

イ　寒い中で練習をしようとするみんなのがまん強さ

ウ　練習に集まってきたみんなの気持ちの温かさ

エ　試練（しれん）をのりこえてきたみんなの喜びの大きさ

□

問二　――線②「男子もまた、天井をながめたり、横をむいたり、おちつかなげなようすである」とありますが、この様子の説明としてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　礼介とけんかしたばかりで、どう接（せっ）すればいいかわからない。

イ　礼介が相変わらずえらそうなので、腹立（はらだ）たしさを感じている。

ウ　初めて女子といっしょに練習するので、はずかしがっている。

エ　練習には来たものの、寒いので早く帰りたがっている。

□

問三　クラスが一体となり、やくどう感が出てきたことが表されている一文を文中からさがし、その初（はじ）めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　この文章でえがかれている哲也についてのべた次の［　］にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。また、［　］にあてはまることばとしてもっともよいものをあとのうちから選び、記号で答えなさい。

［　　　　　　］で練習するのに必要な、［　　　　］をぬったタクトを［　　　　］してきたことには、哲也の［　］と優勝への強い気持ちが表れている。

ア　優しさ　　**イ**　身勝手さ
ウ　不器用さ　　**エ**　まじめさ

［　　］

問五　この文章から読み取れる礼介についてのべたものとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　すなおに自分の気持ちを出せる。
イ　何でも悪い方に考えるくせがある。
ウ　みんなを引っぱっていくリーダーシップを持っている。
エ　まわりの意見に流されやすい。

［　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　文学的文章⑥

一題目

問一　クラスじゅうの男子・歌の練習
問二　ウ
問三　イ
問四　ア
問五　エ
問六　エ

二題目

問一　ウ
問二　ア
問三　黄色いタ　～　ている。
問四　うす暗い教室・蛍光塗料・手づくり・エ
問五　ア

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。